

第79期

平成28年4月1日～
平成29年3月31日

決算のご報告

PERO'S
ステーション



正解するカド

KADO : The Right Answer



東映アニメーション株式会社



株主の皆様へ

目まぐるしく変化する
事業環境に対応し、
「変革」を推し進め、
次世代の主力作品創出を
目指してまいります。

代表取締役社長 高木 勝裕

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

売上高とすべての利益で 過去最高額を記録

当期は、平成28年7月に公開した映画「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーン効果と、国内外で映像配信権やアプリゲーム化権の販売が拡大したことから、前期比大幅な増収増益となりました。その結果、売上高は初めて400億円を突破し、利益を含めいずれも過去最高額を記録しました。好調な海

外事業の売上高は、平成24年度の30億円から159億円まで拡大し、海外事業の売上高比率は39%まで上昇しました。開拓余地が大きい海外市場に向けて、既存事業の枠を越えた新たなビジネスモデルの創出や海外事業拡大に合わせた運営体制の強化などを進め、さらなる業績の拡大を目指してまいります。

働き方改革について

平成29年8月に新大泉スタジオが竣工します。昨今の社会問題として関心度が高い「働き方改革」については、当社も積極的に取り組んでおります。アニメーション業界の「働き方改革」は、商慣習や風土文

平成28年度 連結業績

売上高

40,747 百万円

営業利益

10,133 百万円

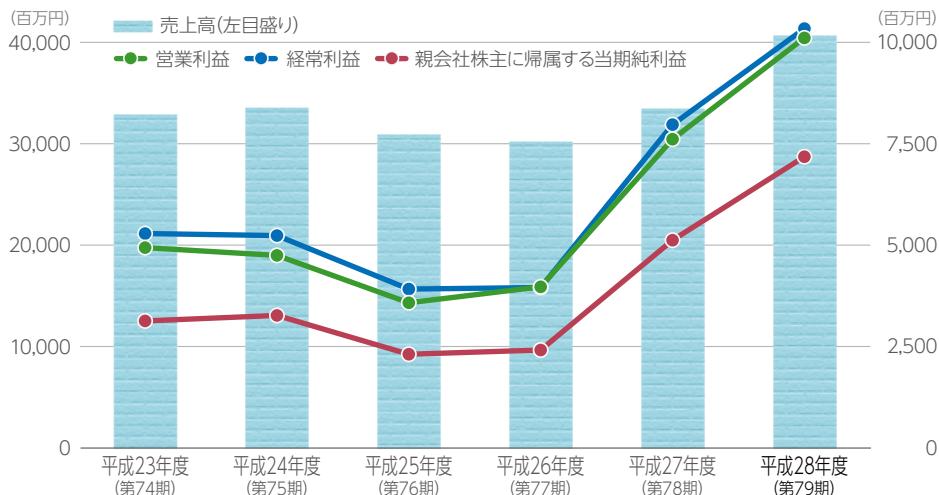
経常利益

10,362 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

7,203 百万円

連結業績実績推移



化面に関わる部分もあり、簡単に成し遂げられるとは考えておりませんが、業界トップランナーの責務として進めてまいります。

次世代の主力作品創出に向けて

当社が保有する豊富なコンテンツを活かしたビジネスの拡大により、足もとの業績は好調に推移していますが、さらなる成長発展のためには、海外事業への注力に加え、次世代の主力作品創出が必要不可欠です。人気原作、テレビ放映枠、提供スポンサーなどの確保が難しくなり、他社との競争が激しくなる中、主力作品の育て方など、従来のやり方を抜本的に見直してまいります。そのために、当社の強みを発揮できる作品のラインナップについて改めて社

内で議論し、作品企画の中期計画を策定するとともに、それに合わせた組織や人員体制、製作ライン、投資などの最適な配分を進めてまいります。

今後も業界・視聴者から選ばれるスタジオであり続けるために、目まぐるしく変化する事業環境に対応し、従来の慣習や方法に固執せず「変革」を推し進め、次世代の主力作品創出を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長

高不勝裕

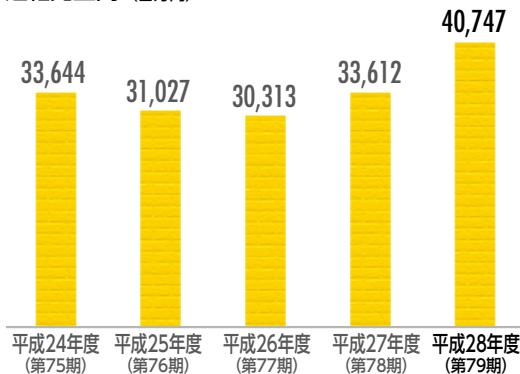
決算のご報告

平成28年4月1日～
平成29年3月31日(第79期連結会計年度)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当期は、国内事業において、映画「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーン効果と映像配信権やアプリゲーム化権の拡大、海外事業においては中国での好調な映像配信権に加え、全世界でのアプリゲーム化権の販売拡大や欧米での大口の複数年商品化権MGがありました。その結果、前期比大幅な増収増益となるとともに、売上高、各利益とも過去最高額を記録しました。

連結売上高 (百万円)



連結営業利益 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



連結親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)



配当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績等を総合的に勘案して、配当を決定しております。

当期の年間配当金につきましては、1株当たり130円といたしました。

■ 特別配当
■ 普通配当
(円)



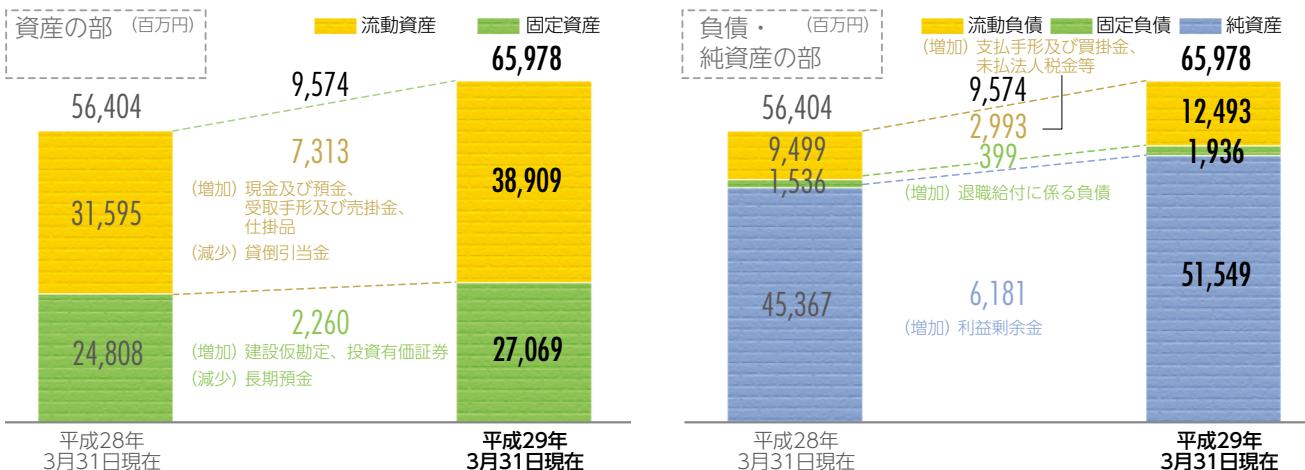
詳細な財務情報のご案内



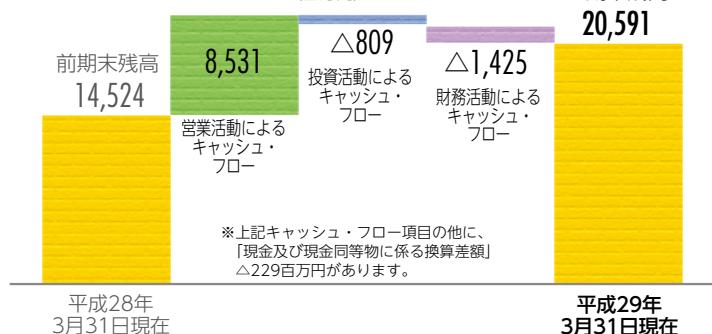
当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。

【IR情報】 <http://corp.toei-anim.co.jp/ir>

連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー (百万円)



POINT

引き続き安定した財政状態を維持しております。総資産は前期末より17.0%増加し659億78百万円、純資産は13.6%増加し515億49百万円、自己資本比率は78.1%と高い水準となっています。

第80期 見直し

主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては中国を中心とした映像配信権の販売に加え、国内外でアプリゲーム等ゲーム化権の販売に引き続き注力します。さらには、当社初のCGによるオリジナルテレビシリーズ「正解するカド」(平成29年4月よりスタート)の放映開始や、「劇場版マジンガーZ」(仮題)の世界先行公開など、新たな取り組みを展開します。

しかしながら国内事業全体としては、前期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」に相当する大型作品の劇場公開やそれに伴うタイアップ・キャンペーンがないことから減収となる見込みです。版權事業では、アプリゲーム市場拡大に伴う新規競合タイトルが数多くリリースされており、当社の既存タイトルの先行きに不透明感があることに加え、前期にあった「ドラゴンボール」シリーズの複数年にわたる大口の商品化版權販売契約に相当するものがないことから全体としては減収となる見込みです。

なお、配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

平成29年度(第80期) 連結業績予想

売上高	33,000 百万円
販管費	6,000 百万円
営業利益	6,700 百万円
経常利益	7,000 百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,500 百万円

事業セグメントの状況

★★ LINEUP OF THE YEAR ★★

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメ等を企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、インターネット、携帯端末等、さまざまなメディアで展開しています。

売上構成比



売上高 **159億39百万円** 前期比 **13.8%増**

「劇場アニメ部門」

「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットにより、前期に比べ大幅な増収となりました。



「テレビアニメ部門」

「ワンピース」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「ドラゴンボール超」等の6作品を放映しました。前期と比べ放映本数は減ったものの、ゲーム向け等音声製作が好調であったことから、増収となりました。



〈劇場アニメ〉



平成28年
7月23日公開

「ONE PIECE FILM GOLD」



平成29年
3月18日公開

「映画プリキュア
ドリームスターズ！」

〈テレビアニメ〉



平成28年
10月1日～

「デジモンユニバース
アプリモンスターズ」



平成28年
10月1日～

「タイガーマスクW」

「コンテンツ事業部門」

「ONE PIECE FILM GOLD」のブルーレイ・DVDの売上があったものの、ゲーム向け等音声製作をテレビアニメ部門に組み替えたことにより、大幅な減収となりました。



「海外映像部門」

中国向け大口契約を含む映像配信権に加え、全世界で「ドラゴンボール」シリーズのテレビ放映権や中南米向け「ドラゴンボールZ 復活の「F」」およびアジア向け「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場上映権の販売が好調に推移したことから、大幅な増収となりました。



「その他部門」

ソーシャルゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシーカードバトル』のサービス終了の影響があったものの、定額映像配信市場の拡大もあり、映像配信権の販売が好調に推移したことから、増収となりました。



著作権事業

テレビ放映や劇場公開等と連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品等の商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。

売上構成比



売上高 **181億92**百万円 前期比 **31.8%** 増

「国内著作権部門」

アプリゲーム『ドラゴンボールZドッカンバトル』や「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたタイアップ・販促向け許諾が好調に推移したことから、前期に比べ大幅な増収となりました。

売上高 **104億39**百万円

売上高推移(百万円)



「海外著作権部門」

全世界で『ドラゴンボールZドッカンバトル』、中国での「聖闘士星矢」のアプリゲームに加え、欧米で「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

売上高 **77億52**百万円

売上高推移(百万円)



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
「キラキラ☆プリキュアアラモード」
国内展開商品



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
海外展開商品

商品販売事業

著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。また、イベントや店舗での直接販売もしています。

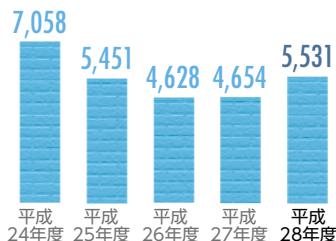
売上高 **55億31** 百万円 前期比 **18.8% 増**

売上構成比



「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたキャンペーン向けのノベルティグッズ等の販売が好調だったことに加え、海外のイベント物販も好調に稼動したことにより、前期に比べ大幅な増収となりました。

売上高推移(百万円)



「ONE PIECE FILM GOLD」
タイアップ関連



「プリキュアプリティストア」
大阪本店



★★ LINEUP OF THE YEAR ★★



「ONE PIECE RUN in 沖縄2017」



「キラキラ☆プリキュアアラモード」
キャラクターショー

その他事業

催事やキャラクターショー、ミュージカル等のイベントの企画・運営を行っています。

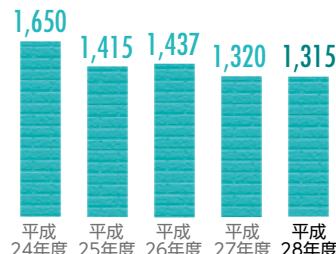
売上高 **13億15** 百万円 前期比 **0.4% 減**

売上構成比



前期にあった「Dr.スランプアラレちゃん」の催事関連に相当するものがなかったものの、「聖闘士星矢」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズの催事関連が好調に稼動したことから、ほぼ横ばいになりました。

売上高推移(百万円)



海外での事業展開

国内・海外売上構成比



海外地域別売上高推移(百万円)



※セグメント間取引額を含んでおります。

当社の最新CG技術についてご紹介します！



平成29年4月より放映中のオリジナルTVアニメ「正解するカド」は、初のCGが主体のTVシリーズ作品であり、CGのキャラクターと作画のキャラクターが違和感なく混在する革新的な作品になっています。

一般的にCGは2Dに比べ製作費が高額で時間もかかると言われますが、TVアニメとして落とし込むために多くの技術開発が行われ、その成果としてさまざまな最新技術を手にすることが出来ました。

今回は「正解するカド」や進化を続ける「プリキュア」を中心に、当社CG技術の最前線をご紹介します。

CGが主体のオリジナルTVアニメ「正解するカド」

「正解するカド」は、CGと2D作画のキャラクターが混在する、いわゆるハイブリッド作品ですが、キャラクターの70%はCGで作られていて、今までにない規模になっています。

今回CGキャラクターには、「セルルック」という見た

目が2Dに近くなる技法を使っています。更に親和性を高めるために、作画のキャラクターと同等の表現力を持つ輪郭線技術の開発を行い、TVシリーズのような長期間製作にも耐えうるクオリティを実現しました。

「カド」という不思議で象徴的な立方体を表現するために、今回「3Dフラクタル」という特種な表現方法が用いられています。加えて、ゲーム製作で用いられる「Unity」というリアルタイムエンジンを映像製作に導入



「カド」と呼ばれる立方体



するという挑戦を行い、製作時間を大幅に短縮するとともに、通常では不可能な「カド」の不思議な映像表現を可能にしました。

また2D製作においても、通常の紙や鉛筆ではなく、すべてデジタル機器を使用したデジタル作画での製作にチャレンジし、難題であった原画、演出、作画監督パートのデジタル化に実用レベルで成功しています。さらに、独自に開発した製作管理プログラムにより製作進行の負担を大幅に削減することにも成功し、新しいアニメ製作工程の可能性を見出しました。

進化し続ける「プリキュア」のCG

近年の「プリキュア」のCGに関しては、技術的進化を伴いながら多角的な展開を行っています。「Unity」を活用した製作時間の短縮で毎月変わるエンディングを試作提供していますが、その際に製作されたCGデータはそのままVR作品としても転用出来るなど、従



CG製作風景

来の製作スタイルに新たな付加価値が生まれました。またVR作品としても「DMM VRシアター」のイベント用映像などを製作し上映するなど、時代に合わせたコンテンツの提供も行っています。

さらに核となる映像製作においては、世界に通用するハイクオリティ「フル3D」の劇場短編を製作し、その技術力の高さを証明しました。

劇場作品は、従来の作画主体の作品から、CGキャラクターが主体の作品へ徐々に転換しており、平成29年3月に公開された「映画プリキュアドリームスターズ！」の半分はフルCGで製作しています。今後も映像製作の場において、CG活用の場を拡げてまいります。



「フル3D」の劇場プリキュア短編



「DMM VRシアター」のイベント用映像

ペロズカフェ



平成28年度中間実施

株主さまアンケート結果のご報告

平成28年12月に実施いたしました株主さまアンケートでは、数多くのご回答をお寄せいただきまして誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,000名近くの株主さまの中から厳正なる抽選を行い、300名の皆様に「ワンピース」2017年カレンダーをご送付いたしました。今回はアンケート結果のご報告として、皆様より頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントをご紹介します。

アンケートの回収状況

回答数 **1,994名**

株主数 **5,180名***

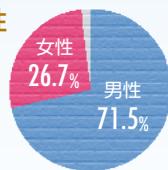
※平成28年9月末時点

回収率

38.5%

ご回答者の属性

男女比
(無回答1.8%)

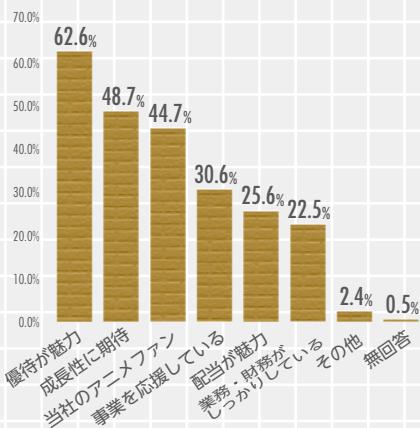


年代別
(無回答1.8%)



当社に投資された理由をお聞かせください。

- 男性 50代 アニメは日本の文化と思ひ、株主となった。
- 男性 50代 往年のアニメファンとして、ぜひサポートしていきたいです。
- 女性 30代 家族でみんなプリキュアが好きだから。
- 男性 40代 経営が信頼できる。 男性 30代 当時、割安だった為。
- 女性 50代 自己資本比率が高い。
- 男性 70代以上 孫が喜ぶQUOカード入手のため。
- 女性 50代 地元企業なので、親しみがあつたから。
- 女性 70代以上 夢があるから。 男性 50代 国家戦略の一翼だから。
- 男性 30代 少しでもアニメ業界を盛り上げたいから。



アンケート
ご協力をお願い

締切日：

平成29年7月21日

ご回答いただきました方の中から抽選で「ワンピース」、「ドラゴンボール超」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」の文具セットを500名の皆様に進呈いたします。



皆様からのご意見・ご質問

Q 今年「タイガーマスク」がリメイクされ放送が始まっているが、他の昔の作品の登場も期待したい。(男性・50代)

A 前回のアンケートに引き続き、テレビアニメ「タイガーマスクW」について多くの反響をいただきました。

過去作品の復活では、45年ぶりとなる「劇場版マジンガーZ」(仮題)の公開を予定しており、当作品については日本に先駆けて世界先行公開が決定しております。今後も、当社の強みの1つでもある世界有数のコンテンツ数を活かし、幅広くビジネスを展開してまいります。どうぞご期待ください。



Q 新社屋が楽しみです。(男性・70代以上)

A 新大泉スタジオは平成29年の8月に竣工し、年末に光が丘スタジオから引越し予定です。スタジオの完成により、アニメーションの製作環境は各段に向上する見通しです。さらに、移転に加え「製作進捗管理システム」を刷新することで、各作品の製作状況をリアルタイムで把握し製作作業の効率化を図ります。これらの施策を通して企画・製作プロダクションとしての原点回帰を図り、業界や視聴者から選ばれるスタジオを目指します。

また、スタジオの完成後は、多くの株主様からご要望をいただいているスタジオ見学も含め施策を検討いたしますので、楽しみにお待ちしております。

Q 「ONE PIECE FILM GOLD」、とてもいい映画でした。今後の作品にも期待しています。(女性・30代)

A ありがとうございます。「ONE PIECE FILM GOLD」の興行収入は50億円を超え、前作の「ONE PIECE FILM Z」に次ぐ東映史上歴代2位の大ヒットとなるとともに、公開に合わせたキャンペーン・タイアップ件数は前作を超え「ワンピース」史上過去最高となりました。また、アブダビでのワールドプレミアの開催や、中国では公開3日間で10億円以上の興行収入を記録するなど海外でも大きな広がりを見せました。

今後とも「ワンピース」への応援をよろしくお願いいたします。



Q 配当予想を業績予想を前提としたものに変えてほしい。(男性・60代)

A 貴重なご意見ありがとうございます。平成29年度の配当予想からベースの30円をなくし、配当性向25%程度を適用し開示しております。

また、配当性向につきましても多数ご意見をいただいておりますが、製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会へ積極的に投資をする予定ですので、現状の配当政策についてご理解をいただければ幸いです。

株主優待のご案内

株主優待オリジナルの「キャラクター QUOカード」を進呈

権利確定日：3月末日

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

平成29年進呈のQUOカード

1000 所有株式数	100株以上で	1セット	2,000円相当
	500株以上で	2セット	4,000円相当
	1,000株以上で	3セット	6,000円相当
	5,000株以上で	5セット	10,000円相当
	10,000株以上で	10セット	20,000円相当

1セット 2,000円相当

描きおろし



「キラキラ☆プリキュアアラモード」

毎週日曜日 朝8:30～
ABC・テレビ朝日系列にて放映中

描きおろし



「ドラゴンボール超」

毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「魔犬ライナー0011変身せよ！」

昭和47年7月16日公開作品



「ピュンピュン丸」

昭和42年7月3日～9月18日

トピック

アジアでキャラクターカフェ・レストランが続々展開中！

…………… 日本でも大人気の「ワンピース」飲食店が今、アジアで続々展開中です。……………



台湾では2016年11月に
「ONE PIECE RESTAURANT」がオープン。

作品をモチーフにしたメニューだけでなく、ここでしか手に入らないオリジナルグッズもお買い求めいただけます。



さまざまな分野でビジネスを広げる「ワンピース」の世界展開に、今後ご注目ください。



韓国では2016年12月にカフェ＆ショップ
「Café de ONE PIECE」がオープンし、連日賑わいを見せています。

会社情報 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 : 645名 単体 : 402名
上場市場	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	http://corp.toei-anim.co.jp

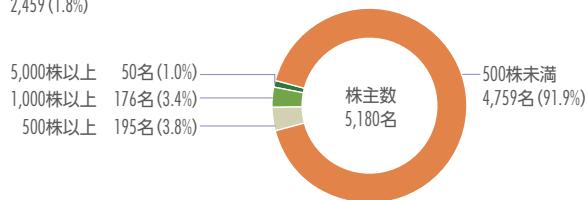
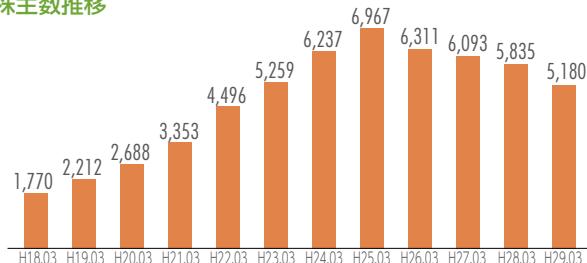
株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://corp.toei-anim.co.jp

株式の状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

発行済み株式総数	14,000,000株
株主数	5,180名

所有者別株式分布状況 (単位:百株)

所有株数別分布状況

株主数推移

お知らせ
■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



「正解するカド」

TOKYO MX・MBS・BSフジにて
平成29年4月より放映中
Amazon プライム・ビデオにて
見放題独占配信中



「デジモンユニバース
アプリモンスターズ」

毎週土曜日 朝9:30 ~
テレビ東京系6局ネットにて放映中
毎週水曜日 夕方5:00 ~
BSジャパンにて放映中



「タイガーマスクW」

毎週土曜日 深夜2:30 ~
テレビ朝日ほかにて放映中



「デジモンアドベンチャー
tri.(トライ)第5章「共生」」

平成29年9月30日劇場上映予定



「キラキラ☆
プリキュアアラモード」

毎週日曜日 朝8:30 ~
ABC・テレビ朝日系列にて放映中



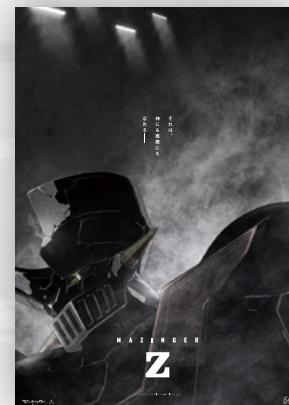
「ドラゴンボール超」

毎週日曜日 朝9:00 ~
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」

毎週日曜日 朝9:30 ~
フジテレビほかにて放映中



「劇場版マジンガーZ」(仮題)

世界先行公開決定

©KINOSHITA GROUP・東映・尾田栄一郎・2016「ワンピース」製作委員会・2017映画プリキュアドリームスターズ!製作委員会・本郷あきよし・アッププロジェクト・テレビ東京・梶原一騎・辻なおき・講談社・テレビ朝日・2016映画魔法つかいプリキュア!製作委員会・パードスタジオ・集英社・2016映画プリキュアオールスターズSTMM製作委員会・フジテレビ・BANDAI NAMCO Entertainment Inc.・BANDAI・ABC-A・DMM.futureworks Co., Ltd.・永井豪・ダイナミック企画・MZ製作委員会・素企画

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

